

Q&A 円光大学韓国語教育センターで韓国語を学びたいですが…。

Q	円光大学韓国語教育センターに入学するために必要な書類は何か。
A	入学願書、自己紹介書、最終学歴を証明する卒業証明書と成績証明書の各1通(韓国語翻訳を添付すること)、身分証明書の写本1通、パスポートの写本1通、預金残高証明書(USD \$ 5,000以上)、写真4枚(パスポート用、最近3カ月以内に撮影したカラーワイド写真、3.5×4.5)、2学期分の授業料、₩2,400,000と入学金₩50,000を入金。 ※学位(学歴)関連書類は下記の①、②から選択 ①アポスティーユ(Apostille)の確認を受けた学位(学歴)書類 ②出身校のある国家の韓国領事または出身校所在地のある国家の駐韓領事の確認を受けた書類
Q	円光大学韓国語教育センターに入学したいですが、書類はいつまで用意しなければなりませんか。
A	韓国外に滞在している場合は、少なくとも1ヶ月前までは申し込まなければなりません。しかし、韓国内にいらっしゃる場合は1週間前までに申し込めばいいです。
Q	韓国語が分かりませんが、空港から学校までどう行けばいいですか。
A	インチョン(仁川)空港から円光大学のある益山まで列車とバスが運行されております。ご出発の前に学校に連絡ください、電話で丁寧にご案内いたします。もし、30名以上の団体でのご入国の場合、本校の大学バスで移動することもできます。 お問い合わせは、+82-63-850-5751までお願いいたします。
Q	円光大学の大学寮で生活したいのですが。
A	もちろんできます。寮には様々なレストランや運動施設が揃っております。ただし、ご自分での炊事はできません。
Q	大学寮ではなく、一般的なアパートなどで生活したいのですが。
A	もちろんできます。学校外でのお住まいをお探しの場合は、あらかじめ学校にご連絡ください。お部屋の探しから契約までお手伝いいたします。
Q	韓国での生活で問題が起きた場合、どうすればいいですか。
A	韓国語教育センター、国際交流科、または119までにお電話ください。お手伝いいたします。
Q	授業時間以外にも勉強することができますか。
A	留学生のための図書館があります。留学生のための図書館には最新型のパソコンやテレビなどが揃っており、勉強、休憩、討論などができます。ウォンクァン大学の図書館を利用することもできます。
Q	韓国人やその他の国の方たちと交流してみたいですが。
A	韓国人の学生との出会いの場を作るための集まりがいくつもあります。韓国人の学生やその他の国からきた学生とお友達になって生活し、旅行することもできます。そして、韓国人の学生に韓国語を教えてもらうこともできます。
Q	教務課などで、中国語でも対応していただけるのでしょうか。
A	円光大学の国際交流科には中国語ができる職員がおり、皆さんの各種相談や質問に中国語で対応しております。また、韓国語教育センターにも中国語が可能な教職員が多くおります。
Q	頑張って勉強すれば、飛び級することもできますか。
A	もちろんできます。飛び級のご要望があれば、補講をうけた後、試験を受け、その試験に合格すれば飛び級できます。
Q	TOPIKテストを受けたいですが、どうすればいいですか。
A	円光大学の国際交流科に申し込んだ後、韓国語教育センターで無料講義をうけながら勉強して、円光大学でテストを受けることができます。TOPIKテストをうけるために、ソウルやその他の地域へいく必要はありません。



新しい21世紀文化の中心

大学はその時代のすべてを総合して、新しい文化を創り出す中心地です。
円光大学は、このような大学の使命を忠実に実践しようとする意志を持って、70年間の歴史を作り出しました。

今、円光大学は韓国の中心になろうとしています。
そして、しいてはアジアや世界の中心になるはずです。
円光大学は新しい21世紀の中心となるはずです。

あなたも、円光大学で新しい世界を経験してみませんか。

円光大学学長 金道宗



円光大学は2015年度、教育部が行った大学構造改革評価で最優秀のAに選定されました。

ソウルから円光大学までの所要時間、KTXで1時間ほど



1. センター長メッセージ



今、世界はまさに国家や民族、文化の枠を乗り越えた、多文化・多国的な社会へと変貌を遂げようとしています。円光大学韓国語教育センターは、世界を舞台に活躍していくべき専門知識を持った人材を育成するために設立された教育機関です。

円光大学韓国語教育センターは、20年以上の韓国語教育経験をもとに、学生のみなさん一人一人の学習目標とレベルに合わせた細分化された、カリキュラムとともに、さまざまな文化体験ができるチャンスを提供しております。特に、国際化の流れに見合う独創的な人材を育てるためのさまざまなプログラムをご用意しております。そして、実力のある最高の教授陣が、短期間に学習者の実力を向上させ、学習者が韓国での生活により早く適応できるよう、最善を尽くしております。

韓国と韓国語に興味を持っている皆さんのが成功的な留学生活を送り、それを活かして自分の実力を伸ばすことができる分野に進出して一人で歩みだせるようになるまで、できる限りのすべての部分でお手伝いする準備をして、お待ちしております。

円光大学韓国語教育センター長 鄭秀鎮

2. 面白い韓国語教育

一独創的かつ体系的な教育プログラム
一学習者の要求を取り入れた教授法
一自信感がわいてくる学習雰囲気
一韓国文化の探求



3. 楽しい学校

- 一すべての教室にマルチメディア環境を構築
- 一外国人専用の図書館運営
- 一多様な韓国文化活動のプログラム(年4回以上)
- 一韓国人学生との交流プログラム

4. 韓国語の研修クラスの正規課程

①研修日程と期間の案内

年度	学期	日程	期間	受付締め切り
2015年	冬	2015.11.24～2016.02.03	10週	2015.10.08
	春	2016.03.02～2016.05.13	10週	2016.01.29
	夏	2016.06.02～2016.08.11	10週	2016.04.29
	秋	2016.09.02～2016.11.16	10週	2016.07.29
	冬	2016.12.01～2016.02.10	10週	2016.10.28

②学費：₩1,200,000/学期（入学金：₩50,000）

③カリキュラム

一正規課程

- ▶1年4学期、1日4限、1週間20時間の総200時間。
- ▶知識（理論）と表現（活動）の両面的な教育。
- ▶「話す」、「書く」に特化した教育の実施。
- ▶3～4限を、2時間通し講義を実施して課題活動中心の教育を目指す。

正規課程	
時間	9:00～12:30
クラス	韓国語1級～6級
人数	15名程度

④韓国語能力試験（TOPIK）対策のための無料講義

- ▶TOPIK専門の講師陣の講義（数年間の問題傾向と方向の研究）
- ▶優れたTOPIK試験の合格率
- ▶受講料は無料

TOPIK講義	
時間	13:00～15:00
クラス	TOPIK I、TOPIK II（年4～5回実施）
人数	15名程度
特典	受講料は無料

⑤ヨガ

- ▶正規課程に含まれている
- ▶学習によるストレス解消及び体力鍛錬
- ▶他の大学とは異なる、人格及び心のヒーリングのためのプログラム



5. 韓国語研修の特別課程（短期）

- 一韓国語教育：学習者のレベルに合わせた授業、1日3時間/週3回以上
- 一韓国の歴史・文化の探求—ソウルツアー、益山～全州～群山間ツアー
- 一舞台芸術の観覧

韓国語研修特別課程

教育	レベル別授業	1日3時間/週3回
歴史・文化ツアー	ソウル、益山～全州～群山間ツアー	
舞台芸術の観覧	全州と群山で行われる公演を観覧	

◆円光大学韓国教育センターの特徴

- ①最高レベルの講師陣
 - ・韓国語教育を専攻した博士号取得者
 - ・100%が5年以上の韓国語教育の経験を有する
- ②研究教授・担任制を通して集中相談・管理システム
 - ・学習及び生活の相談
 - ・進学、就業の相談
 - ・学期中の2回の定期相談のほかにも随時に相談可能
- ③学生生活館（寮）の案内
 - ・10館、3,682名が入館可能
- ④多様な文化体験及び行事
 - ・韓国の伝統的な遊び、料理教室、韓国内の様々な祭りを体験、韓国の文化・遺跡地の訪問
- ⑤都内の文化祭りに参加・観覧
 - ・益山薯童祭り、益山伽藍詩文学祭、全州国際映画祭、全州世界歌祭りなど
- ⑥韓国語能力試験（TOPIK）の試験機関（全来の2か所）
 - ・独立された便利なTOPIK試験の運営
 - ・受験生のためのさまざまな便宜施設を提供—無料駐車場、休憩施設
 - ・便利な交通環境（KTXでソウルから1時間）
- ⑦学習意欲を高めるために各種大会を開催
 - ・スピーチ大会、作文大会
 - ・アリラン・コムンゴ（韓国琴）大会、筆文字大会、詩/絵画発表、ダンス・歌、旅行エッセーの発表など
- ⑧円光大学進学の特典
 - ・本校入学への特典：本韓国語教育センター4級修了者には、本校入学できる資格を与える。
 - ・専攻体験：専攻説明会+専攻授業を聴講/年2回
 - ・奨学金制度：本韓国語教育センター4級修了後、大学へ進学する場合、奨学金を授与（ただし、直前学期の平均点が3.5以上であること）。
 - ・授業料の割引：円光大学への進学者に限って、韓国語教育センターの受講料を50%割引。
 - ・大学院生を対象とした韓国語クラスを常時開設：専攻に関連した韓国語の知識を学ぶ。
 - ・メンター制度：本校の大学や大学院に進学した先輩を招いてお話しを聞く時間。

